オーケストラ編成による仏教音楽の製作

「追憶」

安 村 好 弘

私の研究テーマは、「オーケストラ編成による仏教音楽の製作」である。 研究計画にもとづき、スケッチからオーケストレーションまでを完成させた今 回の作品名は「追憶」である。過去を思い出し、昔を懐かしく振り返る様を一 つの音楽に表現してみた。緊張感のある荘厳な雰囲気の中で、人間の心を捉え、 和ませている。古典的な音楽手法を用い同時に現代的な新しさも組み込み、音 楽を立体的に構築している。

楽曲は、二つの素材を中心にまとめ上げている。一つはゆったりとした素朴な抒情的なメロディーと、あと一つはこれとは対照的に少し速いユーモラスなメロディーがリズムに乗って展開していく。管・弦・打が一体化し音楽を組み立てている。この作品は、式典中に用いられるだけでなく、仏教音楽作品の一つとして独立して演奏できる作品に仕上げている。

2 管編成のオーケストラなので、ピアノのように一つの音色ではなくいろい ろな楽器の組み合わせにより多彩な響きを創ることができるので、スケールの 大きい音創りができている。

楽器編成は、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器である。

仏教音楽の作品数の中でもオーケストラによるものは、他のジャンルに比べ 非常に少ない。しかし、私はあえてこの分野に挑戦し、新しい仏教音楽の一つ として普及させたいと思っている。

〈キーワード〉 仏教音楽

オーケストラ編成による仏教音楽 追憶



























